

ヨドハウスの建築物省エネ法の対応について

◎建築物省エネ法の規制強化について（2025年4月施行）

2025年4月から省エネ基準適合対象が拡大します。原則、すべての建築物について新築・増改築する際に省エネ基準への適合が義務付けられます。居室を有する用途で7.5畳タイプ以上のヨドハウスをご検討される場合は、建築物省エネ法の対象となります。

表1. 改正建築物省エネ法概要

	現行制度		➔	改正（2025年4月以降）	
	非住宅	住宅		非住宅	住宅
大規模（2000㎡以上）	適合義務	届出義務		適合義務	適合義務
中規模（300㎡以上）	適合義務	届出義務		適合義務	適合義務
小規模（300㎡未満）	説明義務	説明義務		適合義務	適合義務

《適合義務対象外》

以下のいずれかの場合、適合義務対象外となります。

- ・床面積 10 ㎡以下の小規模建築物 **⇒6 畳タイプ以下は対象外**
- ・使用用途：『居室を有しない』又は

『高い開放性を有することにより空調設備を設ける必要がない』もの

⇒具体例：自動車車庫、駐輪場、常温倉庫、畜舎、神社、寺院など。

※住宅の定義は戸建て住宅、長屋、共同住宅、寄宿舎、下宿に限り、非住宅はその他（学校、集会所など）を指します（エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)標準入力法 入力マニュアルより）。住宅・非住宅の判断に迷われる場合は、設置予定の市町村の建築指導課にご確認ください。

◎ヨドハウスの建築物省エネ法の対応機種について

建築物省エネ法に適合義務が発生する場合、非住宅用途であることを前提に《注意事項》の制限を満たすことで、表2～4の地域区分の適合が見込めます。なお地域区分について不明な場合は、後述の

【参考資料】[省エネ法の地域区分について](#)をご参照ください。

《注意事項》

- ・用途は非住宅（事務所）用途として検討しています。
住宅用途（離れなど）でのご使用は、対応しかねますのでご注意ください。
- ・建築物省エネ法で定める地域区分について5～8の地域の対応が前提ですが、Fタイプの一部が対応していません。
- ・以下のオプションを装備してください。
（床）全機種（N/D/Fタイプ）：オプション【床下断熱材】
（天井）Nタイプのみ：オプション【断熱材付き天井】
- ・表2～4内の赤字は、カタログ記載の標準付属品の数量を減数しております。ご注意ください。
- ・導入する空調設備について、床面積に対し適切なものを選定し、ルームエアコンディショナーのエネルギー消費効率の区分【い】以上のものを選定してください。

- ・立地条件や方位、ご使用用途、お客様で導入される設備（空調、換気、照明、給湯）によっては、対応できない場合がございます。ご注意ください。
- ・小窓などの開口関係の標準付属品については原則上表 2～4 の数量のみの対応ですが、比較的温暖な地域に設置される場合は開口関係のオプションを追加できる場合がございます。お近くの営業所にお問い合わせください。
- ・内外装の材料構成は下表の通りです。

表 5. 材料構成と熱伝導率

機種名	部位	熱貫流率 ^{注1} [W/m ² K]	外皮構成			
			建材番号	材料	熱伝導率 ^{注1} [W/mK]	厚み [mm]
Nタイプ	床	—	86	パーティクルボード	(0.17)	12
			181	押出法ポリスチレンフォーム 保温板 1種	(0.04)	40
	天井	—	82	合板	(0.16)	2.5
			181	押出法ポリスチレンフォーム 保温板 1種	(0.04)	15
	壁パネル	—	90	ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	(0.12)	2.5
			204	吹付け硬質ウレタンフォーム A種3	(0.04)	29.4
1			鋼板	(55)	0.3	
Dタイプ	床	—	82	合板	(0.16)	12
			181	押出法ポリスチレンフォーム 保温板 1種	(0.04)	40
	天井	—	82	合板	(0.16)	2.5
			181	押出法ポリスチレンフォーム 保温板 1種	(0.04)	15
	壁パネル	—	90	ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	(0.12)	2.5
			204	吹付け硬質ウレタンフォーム A種3	(0.04)	29.4
1			鋼板	(55)	0.3	
Fタイプ	床	—	82	合板	(0.16)	12
			181	押出法ポリスチレンフォーム 保温板 1種	(0.04)	40
	天井	—	70	ロックウール化粧吸音板	(0.064)	15
			90	ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	(0.12)	2.5
	壁パネル	—	204	吹付け硬質ウレタンフォーム A種3	(0.04)	29.4
			1	鋼板	(55)	0.3
共通	フラッシュドア ^{注2}	2.95	—	金属製ハニカムフラッシュ構造	—	—

注 1：建材番号を入力する場合は、熱貫流率・熱伝導率の入力は不要です。

注 2：フラッシュドアは外壁の一部として検討してください。建材番号は入力せず、熱貫流率を入力してください。

●Nタイプ

表 2. Nタイプ 機種ごとの対応地域区分

畳数	品番	標準付属品（開口関係）			対応する 地域区分
		フラッシュドア	はき出し戸	小窓	
3	YHN-30	規制範囲外			
4.5	YHN-45				
6	YHN-60				
8	YHN-80	1	1	1	5~8
9	YHN-90	1	2	2	5~8
10.5	YHN-105 (A/B)	1	2	2	5~8
12	YHN-120	1	2	2	5~8
12	YHN-120W	1	2	2	5~8
14	YHN-140 (A/B)	1	2	2	5~8
16	YHN-160	1	2	2	5~8

●Dタイプ

表3. Dタイプ 機種ごとの対応地域区分

畳数	品番	標準付属品（開口関係）			対応する 地域区分
		フラッシュドア	はき出し戸	小窓	
6	YHD-60	規制範囲外			
7.5	YHD-75 (A/B)	1	1	1	5~8
8	YHD-80	1	1	1	5~8
9	YHD-90	1	1	2	5~8
10	YHD-100 (A/B)	1	1	2	5~8
10.5	YHD-105 (A/B)	1	2	2	5~8
12	YHD-120	1	2	2	5~8
12	YHD-120W	1	2	2	5~8
14	YHD-140 (A/B)	1	2	2	5~8
16	YHD-160	1	1	2	5~8
18	YHD-180	1	2	2	5~8

●Fタイプ

表4. Fタイプ 機種ごとの対応地域区分

畳数	品番	標準付属品（開口関係）			対応する 地域区分
		框ドア	引き戸	小窓	
6	YHF-2015	規制範囲外			
7.5	YHF-2515		1	1	5~8
8	YHF-2020	1		1	5~8
9	YHF-3015		1	1	5~8
10	YHF-2520		1	1	5~8
10.5	YHF-3515		1	2	5~8
12	YHF-3020		1	2	5~8
12	YHF-4015		1	2	5~8
13.5	YHF-4515		1	2	6~8
14	YHF-3520		1	2	5~8
15	YHF-3025		1	2	5~8
16	YHF-4020		1	2	5~8
17.5	YHF-3525		1	2	5~8
18	YHF-4520		1	2	5~8
20	YHF-4025		1	3	7、8
20	YHF-5020		1	3	7、8
22	YHF-5520		1	3	8
22.5	YHF-4525		1	3	7、8
24	YHF-6020		1	3	7、8
25	YHF-5025		1	3	7、8
27.5	YHF-5525		1	3	7、8
30	YHF-6025		1	3	7、8

以上

(日付：2025.4.1)

【参考資料】 省エネ法の地域区分 について

建築物省エネ法で定められる地域区分とは、各地域の外気温傾向や使用されている設備機器等の実態を踏まえて区分された8つの区分を指します。

ヨドハウスの設置予定地の地域区分をお調べの際は、令和元年11月16日施行の新地域区分をご確認いただくか、設置予定の市町村の建築指導課にご確認ください。

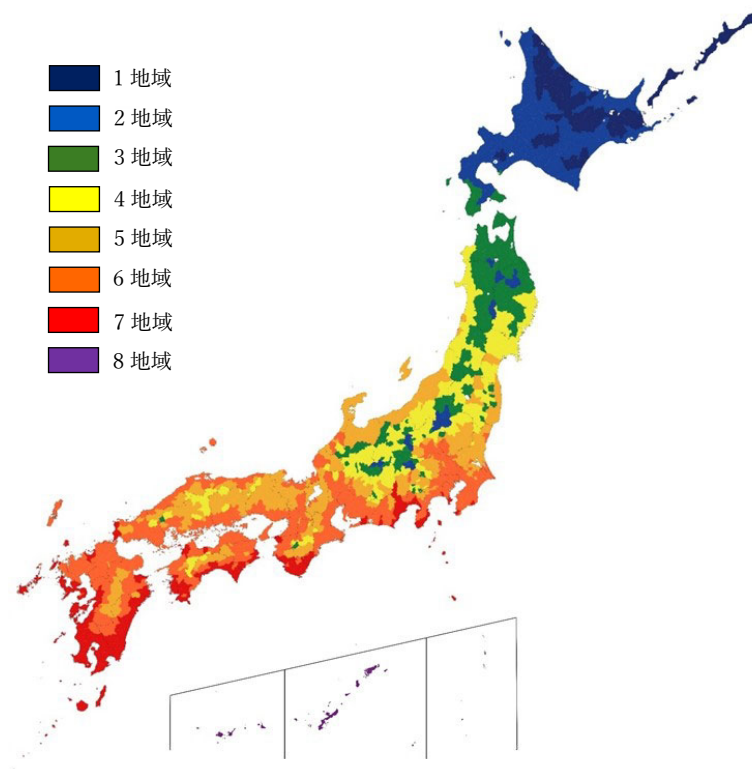


図. 地域区分のイメージ図
(引用：住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム 内

地域の区分・年間の日射地域区分・暖房期の日射地域区分の地図 抜粋)

(日付：2025.4.1)